

阪神淡路大震災から 19 年アンケート

集計期間：2013 年 12 月 18 日～29 日

対象：神戸大学部生・大学院生

形式：web および紙媒体

回答者：177 人

質問 1. 阪神・淡路大震災が発生した当時、何歳でしたか。

| 年齢 | |
|---------|-----|
| 0 歳 | 36 |
| 1 歳 | 53 |
| 2 歳 | 39 |
| 3 歳 | 22 |
| 4 歳 | 13 |
| 5 歳 | 2 |
| 6 歳 | 1 |
| 7 歳 | 1 |
| 8 歳 | 1 |
| 産まれていない | 9 |
| 合計 | 177 |

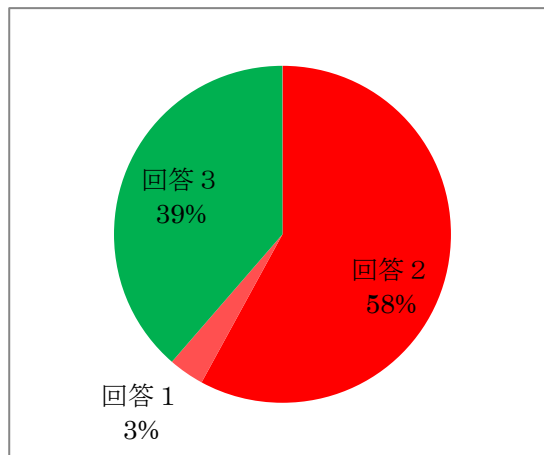
質問 2. 阪神・淡路大震災が発生した当時、どこに住んでいましたか。

| 居住地 | |
|-----------|-----|
| 兵庫県 | 52 |
| 大阪府 | 38 |
| 京都府 | 6 |
| 近畿（京阪神除く） | 17 |
| 中部 | 18 |
| 中四国 | 18 |
| 関東 | 14 |
| 北海道・九州 | 8 |
| その他・空白 | 6 |
| 合計 | 177 |

質問3. あなたは阪神淡路大震災を経験しましたか。

1. 経験しており、大きな被害を受けた
2. 経験したが、被害は軽かった
3. 経験していない

| | |
|-----|-----|
| 回答1 | 6 |
| 回答2 | 102 |
| 回答3 | 68 |
| 合計 | 176 |



大きな被害：家屋が全壊/半壊、家族に死者、避難生活、精神的影響など

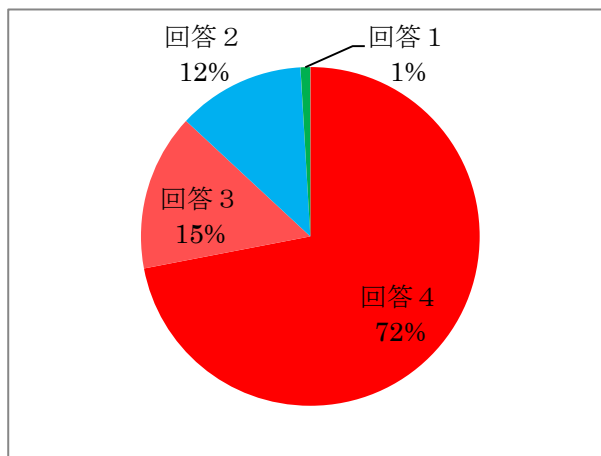
軽い被害：家屋が一部損傷、家具が倒れた、揺れで目が覚めたなど

※設問回答者 176 人

質問4. 3で「阪神・淡路大震災を経験した」と答えた方に質問です。被災当時のことを覚えていますか。

1. はっきりと記憶している
2. ある程度記憶している
3. あまり記憶していない
4. 全く記憶していない

| | |
|-----|-----|
| 回答1 | 1 |
| 回答2 | 13 |
| 回答3 | 16 |
| 回答4 | 77 |
| 合計 | 107 |

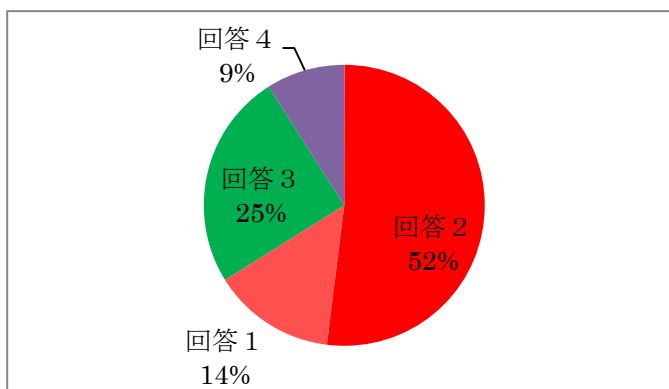


※設問回答者 107 人

質問5. 神戸に住んでいて、また神戸大学に通っていて震災を意識したり知ったりする機会はありますか。

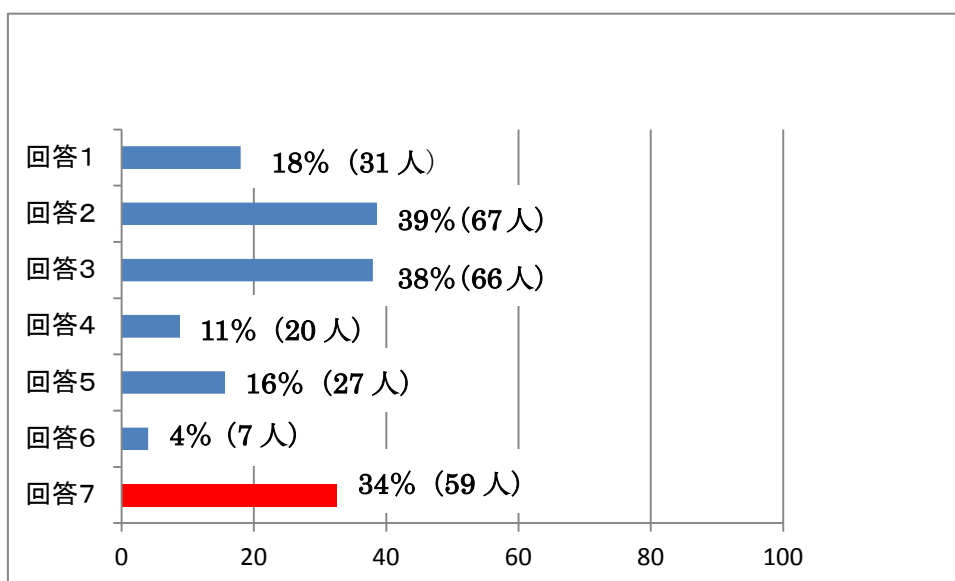
1. よくある
2. 時々ある
3. あまりない
4. 全くない

| | |
|-----|-----|
| 回答1 | 25 |
| 回答2 | 92 |
| 回答3 | 44 |
| 回答4 | 16 |
| 合計 | 177 |



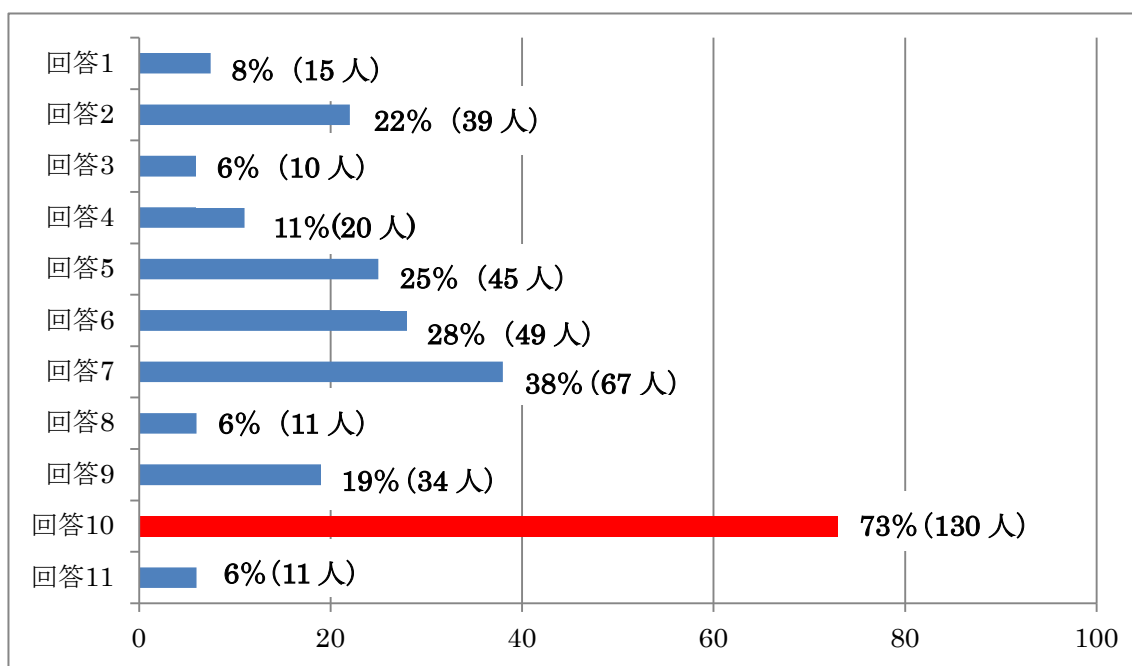
質問6. 神戸大学と阪神・淡路大震災の関わりについて知っていた項目を選択してください。(複数選択可)

1. 神戸大と神戸商船大の学生・教職員合わせて約50名が亡くなったこと
2. 神戸大学が臨時の避難所になったこと
3. 社会科学系図書館に「震災文庫」があること
4. 六甲台キャンパスで1月17日に慰霊祭が行われていること
5. 六甲台キャンパスに犠牲者を追悼する鎮魂碑があること
6. 深江キャンパスで1月17日に慰霊祭が行われていること
7. 全て知らない



質問7. 震災を知ったり意識したりするのはどんなときですか。(複数回答可)

1. 学内外の慰霊祭・追悼式に参加して
(例：学内での慰霊祭・1.17のつどいなど)
2. 神戸大の講義や学内外での講演会やイベントなどに参加して
3. 学内外での阪神・淡路大震災のボランティア活動に参加して
4. 学内外での東日本大震災のボランティアやイベントに参加して
5. 阪神・淡路大震災関連の資料館に行って
(例：人と防災未来センター・震災記念公園など)
6. 阪神・淡路大震災関連の文献や資料を読んで
7. 神戸大や街中の阪神・淡路大震災を記録するモニュメントを目にして
(例：マリーナ像・国道2号の被災橋脚など)
8. サークル活動を通して
9. 友人や知り合いとの会話で
10. テレビや新聞などのメディアで
11. 特にない



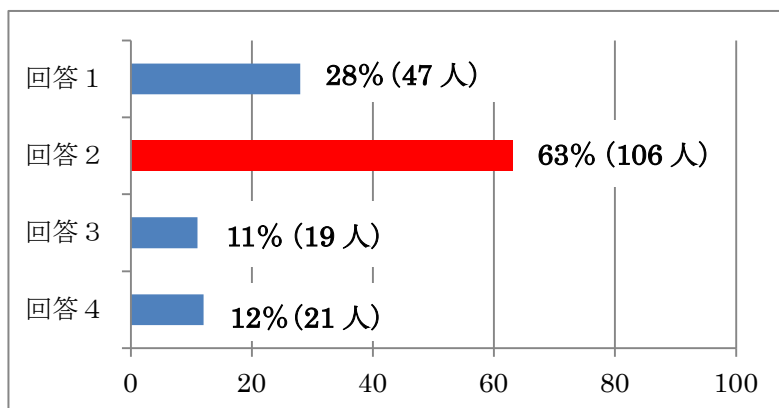
質問8. 阪神・淡路大震災に関する活動に参加したことがある方に質問です。それはどのような活動ですか。

所属しているゼミで映画上映会を行った
学生震災救援隊のイベントで、「1.17をのんびり過ごす会」というものがあり、参加しました。救援隊に関わりのある方を学内外（主に、学外の方）をお呼びして、震災を経験され、普段から震災に向き合っている方々に、その日ばかりはのんびりとしていただこうという趣旨で例年企画されています。
復興住宅でのお茶会。復興祭として始まったお祭りの運営。震災で潰れた公園の美化・保全活動。
日頃からサークル活動で。地域の人々から話を聞いたりする活動。学生震災救援隊。
復興住宅に未だに在住する独り身の被災者のおじいちゃん・おばあちゃんらを戸別訪問するという活動
被災者のコミュニティ形成支援からはじまったふれあい喫茶活動。
ボラバスで派遣してもらって、足湯とか手芸とかコミュニティ支援の活動をしました
ボランティア支援室の主催するもので、当時学生で亡くなられた生徒さんのお父さんが話をしてくれる講演会
復興住宅でのお茶会
東日本大震災がきっかけで、当時のニュースや関連する小説を読みました。

質問9. 2014年1月17日はどのように過ごす予想されますか。（複数回答可）

1. とくに震災を意識せずに過ごす
2. テレビや新聞で震災関連のニュースをチェックする
3. 震災関連のイベントに参加する
4. 友人や知り合いと震災について話す

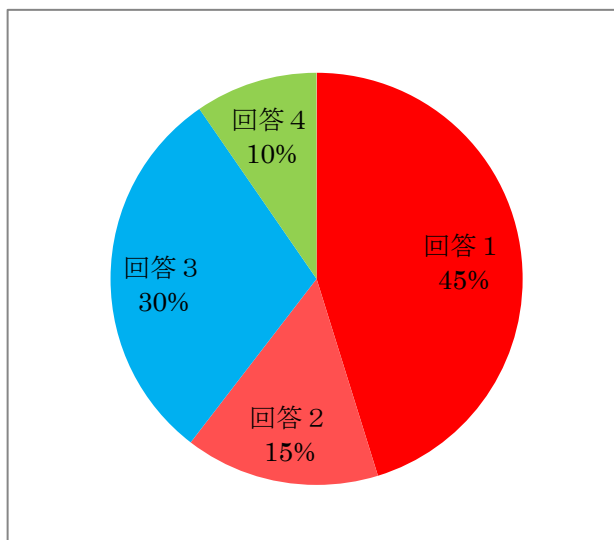
※設問回答者 169人



質問 10. 神戸大学に通うようになったことで、阪神淡路大震災へのあなたの意識は変わりましたか。

1. 特に変わらない
2. あまり変わらない
3. 少し興味をもつようになった
4. かなり興味をもつようになった

| | |
|------|-----|
| 回答 1 | 80 |
| 回答 2 | 27 |
| 回答 3 | 53 |
| 回答 4 | 17 |
| 合計 | 177 |



質問 11. あなたにとって阪神淡路大震災とはどんなものですか。

遠いようで身近。無知で無関心だった頃が恥ずかしい。
身近ではないが、いつかは知らなければいけないと思っています
当時の記憶がなくても、絶対に忘れてはいけない出来事。
理解しようと思っても本質的には理解しようがないもの
自分が母のお腹の中にいた時のことでしたが、その時に家族が灘区に住んでいて、
震災を経験しました。なので小さい頃からその時の話はよく聞かされていました。
それから三重県に引っ越したので、出身は三重県ですが、神戸大学に通うことになり、
実際に自分が灘区にもどってきたことにはなにかの縁があるような気がしています。

親戚に少なからず被害をもたらしたもの
震災の年に自分が生まれてきた意義を考えさせられるものであり、強く生きていかなければならない、と再確認するもの。
震災の年に自分が生まれてきた意義を考えさせられるものであり、強く生きていかなければならない、と再確認するもの。

物心つく前の歴史として知る出来事であり、太平洋戦争のように、歴史（特に建築史や地震学史）上の重要な出来事というイメージ。小学校時代に理科の教科書を批判する格好の材料だった。震災としては、高速や高架橋の倒れた写真の印象が大きいですが、東日本大震災や四川大地震などの影響で、印象が薄れた。

語り継いでゆくべきもの
自分は幼かったので全く覚えていないが、自分が今生きているのは親戚や名前も知らない人など大勢の支援や協力のおかげだと思う。

誕生日と被ったせいで素直に喜べない原因となった災害。

他人事ではないもの

被害も大きく、死者も出たが、絆が深まったと思う。

ごくたまにトラウマとしてよみがえる

高校までは、記憶としてはうっすら残っているが被害も少なかった一方、授業等で大きく扱われたため、歴史的史実としての認識が強かった。しかし、大学に入って、神戸という震災との関わりを語られることが増え、また大学や街に残るモニュメントや新しい建物群を見て、どちらともいえない当事者意識を持つようになった。

実体験がなく、実感がわからないもの。

痛みは無いけどそのときの光景の画像は忘れないと思う（映像では出てこないんです）。いつまでたっても「震災」は阪神淡路大震災を指す。

起こったもの。事実。

なかったほうがきっとよかったけど、それでも、あったことは変えられなくて、あったからこそ得られたものも大きかったもの。

このまちに刻まれた大きな傷であり、このまちを語る上で外せない歴史の一ページ。自分はボランティアとして東北に何度か足を運んだが、「神戸も大変だったんだよね」と声をかけられることが何度もあった。しかし、自分は被災者でもないし、何も知らない。この言葉が阪神淡路大震災について知ろうと思うきっかけとなった。

大学に入学し、関西以外の地域出身の人と多く話すようになり、阪神淡路大震災に対する認識の違い、深刻さの違いを感じるようになりました。関西の人は、自分や家族、友人も含め、やはりあの震災は相当大変なことだった、という認識で話すのですが、他の地域の方は、そこまで深刻に考えていないようで、その話す時のニュアンスの違いに違和感を覚えることがあります。そして逆に、私が将来東北に行ったとき、地元の人に対して軽い気持ちで震災のことを話すことの無いようにしようと思うようになりました。

一般社会に潜む問題が露呈した災害。神戸の強さを再確認させたもの。

恥ずかしながら東日本大震災ボランティアを通じて初めてちゃんと知るようになったもの。

幼いころの出来事なので、「怖かった」としか記憶していません。しかし、大学1回生や、来年入学する新入生の中には、震災発生時に生まれていない人もいることが不思議な感覚です。

神戸大学に進学して、ボランティア団体が多いことを実感しています。在学中に東日本大震災が起こったことで、そうした団体の活動をより身近に感じました。

本当のところは語り継いでいくべきであるのに、実際は自分自身に記憶がほとんどないために、なにもできない。そんな過去の出来事です。

一生忘れることがないもの

教訓を後世に伝えていきたいと考えるもの

忘れてはいけない出来事

身近なもの

忘れてはいけないもの

東日本大震災の印象が記憶に新しく、高校の修学旅行にも影響したために、ただの一つの事象に成り果てていると思う

経験時の記憶がないので特に考えたことがない

被災者支援などに関して教訓になったもの

昔起こった出来事

後世に伝えるべき出来事

現実味がないもの

親が「すごい揺れた！」という話をするが、自分自身に実感がないのでよくわからないただ、友達の体験談を聞くと「大変だったんだろうな」と思う

直接の経験はない、けれど親しい人がそれで苦しんでいる。でもその人たちと出会えたのは震災があったから。いろんな意味で、阪神・淡路大震災は終わっていない。いつの間にか僕の大学生活と関係ないものではなくなったもの。

記憶にはないので、実体験からは何も言えないが、人々の記憶・歴史に残る大きな被害と「復興」が震災のイメージです

軽視しては決していけない

そこから学ぶもの

特に、東日本大震災を経験した人は阪神・淡路大震災を経験した人は、阪神・淡路大震災がどのような風だったかを知りたいと思われている経験はしましたが、記憶がなく被害もないので恐ろしい印象があまりありません
大きな地震

今年私たちが震災を意識するようになったきっかけ

知らない世代が増えてきた→東日本の登場

教訓

昔あった関西の大地震

子どもの頃のことで直接記憶はないけど、明石に引っ越した後も小学校の震災教育や親との会話の中でいろんな話を聞いてきたから、大まかなイメージは持っている

2カ月ほど祖父母の家（県内）に避難したり、震災当日いつも遊んでいた近所のお寺でミルク用に井戸水をもらったりと、周りの人々との関わりが印象深く記憶している
おそらく一生 1.17 のことは忘れないと思う

「震災」と言えば 3.11 より 1.17 がまず思い浮かぶ

神戸に来るまで阪神・淡路大震災についてほとんど考えたことがなかった

神戸に来るまで阪神・淡路大震災についてほとんど考えたことがなかった
関東に住んでいたこともあるだろうが、発生時にとってもまだ幼かったため、他人から聞いた情報しかない

長田区出身であるので、当時の直接の記憶はないものの、家族から話を聞いたり学校で学んだり家にある震災記録写真集を見たりして阪神・淡路大震災に関する意識は他地域から来ている人と比べると当然高いと思います

Twitter をやっていて、1.17 は僕も含め神戸出身者の友人ばかり震災関連のツイートをしていて、それは 8.6 に広島出身者が立て続けにツイートしていたのと同じように、直接の体験に関わらず、その後の教育などによって意識は変わるのだろうということを感じました

自分のことを言うと、あの日母が風邪を引いていて父は仕事だったため夜は母の実家（長田）で過ごしていて、地震があつて家に帰ると、私がいつも寝ていた場所はタンスが倒れていたようで、震災のことを思うと今生きていることは本当に偶然で、大切にしなければいけないということをいつも感じます

3歳直前ということで自分の直接の経験としての阪神・淡路大震災はほとんどないが、大学進学で神戸に来て、見た目は新しく美しく生まれ変わった町（古い家が少なく駅周辺は高層マンションが多い）を見て、以前はどのようなものだったのか関心を持った

YouTubeなどで調べると、被災直後の神戸の映像が出てくる

そこにはかつて「下町」だった神戸の様子があり、今はこれらが破壊され、一掃されてしまった後にできた「新しい町」なのだということを気づかされる

そこに住んでいた人たちはいったいどこに行ったのだろう……？と、よそ者で元の姿を知らないものとしては客観的に考えさせられる

忘れてはいけない記憶

これから同じ失敗は繰り返さないように意識させてくれるもの

日本が地震大国だと知らされる

覚えてないのでどう表現したらよいか迷うが、地元の宝塚市では震度7を記録したところもあるなど甚大な被害を受けたので、宝塚市で生活していると、阪神・淡路大震災はこの時期になると頭の片隅に思い浮かんできます

東日本大震災の復興の規範となるべきもの

近いようで遠いもの

かなり昔にあった悲惨な出来事です

再び起こるかもしれない自然災害

被災された方にとっては人生のターニングポイントであり、神戸で生活していくうえで知っておきたいもの

私の経験してないたくさんの命が失われた災害

平成の関西を構成する一大因子

教訓になってると思います

多くの方が亡くなり、建物も壊れて、失ったものの大きさは今でも意識すればリアルに感じ取れます

東日本の地震の後に神戸に住むようになったことと、好きな作家が阪神の地震について書いていたおかげでしっかり考えられるようになったと思います

過去の震災のひとつ

忘れてはいけないけれど忘れがちなもの

イベント化（追悼など）することは避けるべきだと思う

遠いような近いような

これからも忘れてはいけないもの

最初に神戸に来たときは広島の前爆に対する気持ちと同じイメージ

今はそこまで特に何も思わない

あったことを忘れてはいけないもの

大きな災害

忘れてはいけないもの

復興がうまくいっている印象

企業やボランティアの力も大きかったと思う

福島で阪神と同様の復興ができるかは不安視している

核もからんでいるため、難しさが格段に高いと思う

小さい頃から学習したりしていたが、本気で考えたことはなかったかもしれない

東日本大震災を機に、阪神・淡路大震災の被害の大きさを理解し、被災された方々に思いをはせるようになった

自分の記憶にないので過去の出来事というイメージが大きいです。ただ、テレビなどで神戸の駅や建物が崩壊している映像を見ると、いつ再び起きてもおかしくないという思いになって怖くなります。

未曾有の災害

経験してないのでよくわかりません

震災

新しく住み始めた土地の出発点です

自分の人生には直接影響は今までなかったが、神戸で生活する中で震災を経験し、中にはご子息を亡くされた話などを聞いていて、間接的にすごく影響を与えられている出来事です

神戸に住んでいなかったら、東北へボランティアへ行こうとは思わなかったとも思うし、関東・東北の大震災と自分をつなぐ役割を果たしているという側面もあると思いました

悲惨な災害で教訓にすべきこと

自分と関係ないものとは思えないこと

阪神・淡路大震災は経験したが、全く当時の記憶がなく被害も身近にはあまりなかった
ので日本で起こった震災のひとつという印象

東日本大震災以降はその影に埋もれてしまっている

当時のことは覚えていないし、それから九州に住んでいてあまり意識したことはあり
ませんが、神戸大学で実際に被災した友人や先輩の話を聞くと、本当にここで
あの大災害が起きたのだなあ実感し、以前より身近な問題になりました

忘れてはならない天災だと思う

大きな災害

家にひびをいれ多くの人が亡くなった痛ましい事件

全く覚えていないが、ちょうど震災の前後に生まれた学年ということで、中高の試験
などで出る可能性が高いと言われ、授業資料・問題集などで目にする機会が多かった
幼かったので実感は全くない

また、震災などに興味を持つ頃にはすでに復興が進んでいて過去の出来事になった
親族が死んだということもないので、特に関心を抱いたことはない

とはいえ直下型地震の恐ろしさは当時の映像などから伝わってくる

関西は活断層が多いらしいので、阪神・淡路大震災から学ぶことは多くあると思う
震災当時のことは全く覚えておらず親から話を聞いたり毎年1月17日にテレビのニ
ュースでイベント映像を見て思い出すくらいで、あまり震災について考えたりしたこ
ともない

産まれて間もない頃に起きた大きな地震

人の限界がよく分かった

自然災害の恐ろしさを感じるもの

小さかったときのことで覚えてはいないけれど、毎年両親からニュースなどで話を聞
き、自身の恐ろしさを知ると同時に、日々の防災の準備が必要だと思わされる

自分が産まれた直後に起こった災害

経験や映像は伝えていかなければならない

自分が産まれた年に起こった大きな出来事の1つ

建物の耐震が変わるきっかけ

神戸の大学に通っているわりにどうも遠い存在

私は経験したことがないので、神戸での学生生活の間に、逆にどんなものだったのか
を知りたかった

実際に経験していたら、地震によって普段の生活ががらりと変わり恐ろしいものだ
ったと思う

忘れてはならないもの

忘れてはないもの

今後必ず教訓を生かすべきもの

防災を考える日

尊い命が失われた日

まだ続いているもの

天災でかつ人災

身近だけど全く当時の記憶がないもの

過去にあった大きな地震

この大学に入って少し意識し始めました

せっかく神戸の大学に入ったからいろんな人の話を聞いてみたいという気持ちがあります

東日本大震災のとき初めて強く神戸に住んでいることを意識した

神戸はここまで復興したから東北もがんばってほしい

小さい頃に経験した出来事の中の1つ

あまりに幼い頃だったので、あまり被害などは覚えておらず、最近になって知ることが増えてきた

記憶がないので、あまり意識をしない